



新春のお慶びを 申し上げます

新春を迎え 皆様と ご家族様のご健康と ご活躍をお祈りいたします
この一文を 私の年賀状として 配信先の皆様にお届けいたします

「色彩教材研究会通信」は 約八年間の週刊配信と伸び 皆様のご協力の賜物と感謝しております 周りに配信ご希望の方がいらっしゃいましたら 送りますのでメールアドレスを お知らせください

私は 八十九歳のお正月を迎えました 体調は 両足の麻痺が進行し 杖を頼りに近くの公園の中を 散歩できる程度の不自由な 一人暮らしが続いています

日本規格協会から 「物体色の色名」中の「慣用色名」に関する 超短文の文章を依頼され 執筆を終わり 今年中に十二編が掲載されることになっております。

お身体を大切にお過ごしくださると共に 学会活動に ご協力をお願いいたします

令和七年 新春

永田泰弘

●新年のご挨拶 ～UBUNTU の精神～

新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくようお願い申し上げます。皆様は、どのような1年を過ごされますでしょうか。私は「“UBUNTU”の精神を持って、ひとつひとつに丁寧に取り組む」を2025年の目標にします。

“UBUNTU”とは、南アフリカで用いられるズールー語で「あなたの中に私の価値があり、私の中にあなたの価値がある。自分だけの価値をお互いの中に見出し、尊重し合うことができる社会を目指す」を意味し、日本のプロバスケットボール（Bリーグ）のチームのひとつである「アルティーマ千葉」（2024年終了時の勝率92.9%）の精神でもあります。

これまでは、プロジェクトをひとりで抱え込んでハンドリング・解決する癖がありましたが、これまでのハンドリング実績を踏まえ、ひとりで無理をせず協働する同士を巻き込んで“UBUNTU”の精神を持って取組み、皆で成功を分かち合えるよう全力を尽くします。

まずは、3月の試験的色彩教材ギャラリートークに“UBUNTU”を発揮するところから始めたいと思います。そして主査の任期を終えた後も、様々なチームで“UBUNTU”を心掛けます。
(吉澤陽介 主査より：024)

●新刊紹介理想の色に巡り会える日本の伝統色

発行：(株)三才ブックス 文庫版 239頁

監修：橋本実千代

監修協力：園田好江・瀧川優子・三本由美子

発行：2025年12月15日 1,800円+税

橋本実千代さん監修の三冊の赤・青・白の図鑑に続く、「日本の伝統色」です。

300に近い色名が登場します。

各色名には、華やかな写真のほかにも、説明文がつき、読み仮名、色見本、古事来歴なども含む説明文、色料の三原色CMYK値、光の三原色RGB値、カラーコードの色データも示されています。

とにかく、手にとると非常に楽しい本で、どのページを開いても引き込まれます。

例えば、136ページを開くと「藍染いろいろ」とあり、藍で染めた濃淡48色の色見本のそれぞれに色名が与えられているのが見て取れ、昔の日本人の美意識の奥深さに触れることができます。

全体を流れる色名の選び方は、花鳥風月を基礎にしているのが見て取れます。

皆様もこの一冊を手元に置いて、日本の伝統色を感じ取れるような日常を送ってくださると、気持ちが豊かになると思います。

(永田泰弘)